

よく用いられる音部記号(ト音記号、ヘ音記号、アルト記号、テノール記号)は基本ワークスペースの音部記号パレットに用意されています。より広範囲なものは(次の図)、アドバンスワークスペースの音部記号パレットを見てください。

ト音記号について次のような決まりがある。ピアノ音程とギター音程は、1 オクターブ低くなる。ト音記号の下部に、MuseScoreの ver.3.5より表記がされるようになった。つまりト音記号ではクラシックギターを選択するとト音記号の下部に「8va bassa」が



⇒ 15ma alta (2 オクターブ上)

⇒ 15ma bassa (2 オクターブ下)



8va alta (1 オクターブ上)

8va bassa (1 オクターブ下)

オクターブ線は、基本とアドバンスワークスペースの線パレットに用意されています。8va alta/bassa線は特にピアノ譜で一般的ですが、他の楽器でも用いられることがあります。1. 15ma alta (2 オクターブ上) や 15ma bassa (2 オクターブ下) も時折用いられます。

ギターのハーモニクについては、倍音ないし3~4倍の高調波がきれいな音で発信される。

by 久保田